

寄贈に係る受贈式

7月2日(火) 14:40 市役所6F 教育委員会室

「インバータ発電機」「折りたたみ式リヤカー」寄贈



いか、低減しても許容できるリスクでない場合は、施工段階でリスクを除去・低減するため、施工者にリスク情報を確実に伝達▽できる限りプロジェクトの上流でリスクを除去・低減し、一元的にリスク管理を設計段階から施工中の安全衛生確保方策のポイント（考え方）に挙げた。

安全衛生を確保するための取り組みとして、①リスク登録のためのデザインレビュー実施（チェックリスト活用）②設計図面へのリスク情報の記載③リスク情報をより高次元化、可視化するBIM/CIMの活用④フロントローディングの積極的活用⑤設計段階で施工の安全衛生ノウハウなどを持った人材の教育・養成の5つを先行的な好事例とし、これを積極的に活用することで、安全衛生のさらなる向上が期待できるとしている。

建設工事の安全衛生対策は近年、施工段階の対策だ

NPO草津市内業者会 草津市の防災事業支援

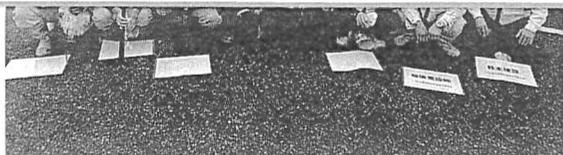
発電機・リヤカー寄贈

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる「NPO法人 草津の未来を建設

する市内業者会（略称「NPO法人草津市内業者会・理事長 森川守（株）千商代表取締役）」は2日、拠点の草津市の防災事業への支援として、発電機およびリヤカー

を寄贈した。同法人は設立以来、社会貢献活動の一環として災害時の緊急出動、清掃や不法投棄撲滅活動、宿場まつりへの協賛企画、教育事業への寄付など幅広く草津市への支援活動を行っている。草津市役所で行われた贈呈式には、NPO草津から

ら総勢14名が出席し、草津市からは橋川渉市長、松下正寿危機管理監ほか関連職員が出席した。森川理事長が「これからの梅雨時・出水期に存分に活躍させて頂ければ幸いです。防災・安全・福祉・教育など多方面での支援活動を今後も継続して参ります」と述べ、「インバーター発電機1台、リヤカー1台」の贈呈目録を橋川市長に手渡した。橋川市長は「防災に役立つ備品の寄贈はもとより、06年に災害時における応急復旧支援協定を締結させて頂いて以来、災害支援や訓練にしっかり対応頂き感謝したい。先月21日は草津市でも記録的豪雨となり伯母川堤防の応急復旧を迫られ、過去の大雨の復旧も残っている。災害時に重要な避難所活動では過去に停電も起き、発電機やリヤカーは非常にありがたく訓練時にも活用させて頂きたい。また市内の道路パトロールや教育関係の備品寄贈など草津市のための常日頃からの社会貢献活動にも改めて感謝申し上げたい」と感謝の言葉を述べた。



道の周湖の湖周道伊
路を清掃した伊
香支部会員

ドに総勢69名（39社）の会員企業が集合し、南浜一帯の琵琶湖岸および湖岸道路沿の清掃活動を実施。

一方、建設業協会の伊香支部では、県土木施工管理技士会の伊香支部（石田猛支部長）とともに、余呉湖ビジターセンター前に総勢20名（14社）の支部会員が集合し、余呉湖の湖周道路で清掃活動に取り組んだ。

参加者は、うだるような蒸し暑さのなかで湖岸や道路わきに散乱した空き缶やペットボトル・紙屑などを分別しながら、ひとつひとつ丁寧に回収していった。



贈呈式に出席した（前列左から）守野副理事長、森川理事長、橋川市長、松下危機管理監、辻副理事長とNPO草津理事役員一同

森川理事長をはじめ辻由夫副理事長、守野洋史副理事長、幹事

大津市・事業者向け介護保険等情報提供会 今月10日に開催

大津市介護保険課は、事業者向けに介護保険関係等情報提供会を10日に開催する。行政と介護関係等事業所が相互に情報を提供できる場を設けることで、大津

市を中心とした介護関係業界の円滑な事業推進に資することを目的としている。

時間は、和邇、堅田、比叡、中あんしん長寿相談所の担当エリアに所在する事業所は13時30分～14時30分で、膳所、晴嵐、南瀬田、瀬田第二あんしん長寿相談

所の担当エリアに所在する事業所及び市外の事業所は15時～16時を予定。会場は、大津市役所・別館1階大会議室。

申込みは、当日受付で、事前予約等は不要。詳しくは、同課・077-528-1275まで。



滋賀県の建設情報は、滋賀産業新聞へ



お申し込みは...

滋賀産業新聞

検索

入落札データ販売

1990年度（平成2年度）より新聞掲載の入落札データを全入力、幅広い検索でお望みのデータをご用意します。